

収入確保と経費節減の取り組み

収入の増額確保

- ・ 県民サービスの維持・向上や安定した財政基盤づくりのため、税収の確保に加えて、広告料収入や自動販売機設置による貸付け、利用予定のない土地の売却など、積極的に収入の増額確保に努めます。

公共施設命名権(ネーミングライツ)の売却 21,417千円

- ・【新規】総合スポーツセンター ぐんまアリーナ(スポーツ健康課)
- ・群馬県民会館「ベイシア文化ホール」 10,000千円(文化振興課)
- ・敷島公園野球場「上毛新聞敷島球場」 5,000千円(都市計画課)
- ・敷島公園陸上競技場「正田醤油スタジアム群馬」6,417千円(都市計画課)

広告掲載による収入 13,064千円

- ・【新規】上毛新聞敷島球場外野フェンスへの広告掲出 700千円(都市計画課)
- ・県庁舎、公用車等への広告掲出 1,940千円(管財課・文化振興課)
- ・県からの発送用封筒への広告掲載 2,821千円(総務事務センター・税務課ほか)
- ・ホームページ、広報紙等への広告掲載 7,603千円(税務課・広報課ほか)

県有財産の有償貸付 172,435千円

- ・県有財産を有料駐車場として活用 12,540千円(管財課)
- ・自動販売機の設置による貸付・使用許可等 159,685千円(管財課ほか)
- ・「ぐんまちゃんの着ぐるみ」等を積極的に貸し出し 210千円(県民生活課ほか)

県有土地の売却 750,061千円

- ・利用予定のない県有地の売却 720,061千円(管財課)
- ・廃川敷地・廃道敷地の売却 30,000千円(用地課)

使用料・手数料の改定 19,274千円

- ・産業技術センター機械使用料など各種手数料の改定 19,274千円
(詳細は、別紙「使用料・手紙料の改定」)

更なる内部管理経費の削減

- ・非常に厳しい財政状況を踏まえ、コスト意識を持った県政を推進し、県民サービスに振り向ける財源を確保するとともに、事務の執行方法(仕事のやり方)そのものを見直すことで、更なる経費の節減に向け全庁一丸となって取組を行います。
- ・特に、事務用消耗品等購入費削減・コピー用紙使用枚数の削減については、所属毎に前年度の実績を踏まえ、具体的な数値目標を立てて削減に取り組めます。